

## Webサイトのユーザビリティチェックリスト ～入力フォーム編～

Webサイトの入力フォームを作成する上で、気を配るべきユーザビリティのポイントです。

この中で、いくつ実現できていますか？

| No. | テーマ   | 詳細／理由／あるべき姿／解説   | チェック                     |
|-----|---|--|--------------------------|
| 1   | フォームの入力項目は可能な限り<br>最小限にする                       | 長すぎるフォームはユーザーの入力意欲を減退させる。入力項目はどうしても必要なものに絞り、できれば回答して欲しい情報などはタイミングをずらして後から入力させる等の方法を取る。   | <input type="checkbox"/> |
| 2   | ユーザーが何ができるようになるか<br>知らせる文言を使う                   | (例)サービスの会員登録フォームのボタン等では、単に「登録する」ではなく、「登録して〇〇をはじめよう」といった、ユーザーが何ができるようになるのかをイメージさせる文言を使用する。  | <input type="checkbox"/> |
| 3   | 入力されるであろう内容をあらかじめ<br>記入しておく                     | (例)20代をターゲットとしたサービスの会員登録フォームにおいて、生年月日の入力欄の「年」の部分はコンボボックスの先頭を初期表示するのではなく、20代が選択するであろう値の中心値などをあらかじめ選択しておく。                                     | <input type="checkbox"/> |
| 4   | 未記入や誤入力については、その場で分かる<br>工夫をする                   | 長い入力フォームを記入して「送信」した後にエラーが返って来るより、記入中に指摘してもらえたほうが、ユーザーにとって分かりやすく、どう直せばよいかの理解が早い。  | <input type="checkbox"/> |
| 5   | 入力書式の間違いで「エラー」扱いしない                             | 半角、全角、ひらがな、カタカナ等、システム上入力して欲しい書式と違うものが入力されても、内部処理で自動変換する等の工夫でユーザビリティを高める。<br>ただし、画面上に期待する書式を明記する必要が無いという意味ではなく、ユーザーが入力時に迷わないよう、書式の併記は行った方がよい。 | <input type="checkbox"/> |
| 6   | 選択肢が設定できる場合は選択肢を用意する                            | アンケート等の場合、たとえば「あなたはどう感じましたか？」という設問に対して広大な入力欄をひとつ用意するのではなく、「便利だ」「不便だ」など、選択して選べた方がユーザーにとっては回答しやすい。<br>ただし、回答を誘導する形にならないよう注意が必要。                | <input type="checkbox"/> |
| 7   | クリック可能エリアは大き目に確保し、<br>複数ある場合はエリア同士が近づき過ぎないようにする | 入力欄の移動など、Tabキー操作ではなくマウスやタップによる操作をする場合、エリアが小さすぎると押しにくくなってしまふ。また、大きなエリアとした場合は押し間違いも発生するため、間隔を広めに取るなどの配慮が必要。                                    | <input type="checkbox"/> |
| 8   | ユーザー自身の状況や状態が分かるように<br>する                       | 「複数の入力項目のうちどこまで進捗しているか」「ステータスがある場合、いまどの状態にいるか」などを明示することで、ユーザーに安心感を与えることができる。   | <input type="checkbox"/> |
| 9   | ゴールに近づいていることを明記する                               | ユーザーに、現在自分が手順のどこにいるのかを明示するだけでなく、ゴールに近づいていることを明記することで、ユーザーのモチベーションを維持することができ、離脱を防ぐことができる。   | <input type="checkbox"/> |
| 10  | 重要な場面ではコントラストを高める                               | ユーザーに何かしらアクションを求める場合（登録／確認／購入）など、コントラストを高めた目立つボタンを配することで、ユーザーの迷いが無くなる。   | <input type="checkbox"/> |
| 11  | 何かを実行した場合、どこが変更できる<br>(される)かを明確にする              | ユーザーが何かしらのアクションを起こした際に、何が起るか分からない状況は、ユーザーに不安とストレスを与えてしまうため。  | <input type="checkbox"/> |
| 12  | 確認画面では、やり直しできる機能を用意する                           | 確認画面ですべてを確認させて終わり、ではなく、確認画面に「やり直し」できる機能（前の画面に戻る／部分的にその場で修正ができる）を設けることで、ユーザーに自由な印象を与え、安心感を与えることができる。  | <input type="checkbox"/> |
| 合計  |   |  |                          |

|     |  |
|-----|--|
| 0～5 | ユーザビリティに関する配慮が足りていません。ユーザーのことをもっと考えましょう！                     |
| 5～8 | 入力フォームにおける基本的なユーザビリティは確保されているとお見受けします。ただ、まだまだ改善できる箇所はありそうです。 |
| 9以上 | ユーザビリティに対する理解があり、入力フォームとしての完成度も高いようです。                       |

クレスコでは、このチェックリストよりもさらに詳細な観点から、  
ユーザビリティ診断も実施しています。お気軽にご相談ください。

株式会社クレスコ UXデザイン  
[https://www.cresco.co.jp/service/ux\\_design/](https://www.cresco.co.jp/service/ux_design/)